

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

**事業名 ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業プラス
シュアップ応援事業費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 男女共同参画推進課 両立推進係 電話番号：058-272-1111(内3571)

E-mail : c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 450千円 (前年度予算額： 584千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	584	0	0	0	0	0	0	0	584
要求額	450	0	0	0	0	0	0	0	450
決定額									

2 要求内容**(1) 要求の趣旨（現状と課題）**

- 「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」は、従業員の働きやすい職場環境が整い、「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に積極的に取り組む企業として、県が認めた優良企業である。エクセレント認定企業が、岐阜県を代表する優良企業としての気概を持ち、県内外からの優秀な人材を引き付ける魅力的な存在であり続けるため、絶えずその取組みをプラスアップさせ、進化していく必要がある。
- さらに適合性確保の取組みとして、過去に認定したエクセレント企業の中で、認定基準を満たさない企業に対し認定取消しを行い、エクセレント企業のブランド力の維持を図る。

(2) 事業内容

- 令和6年度末までに認定したエクセレント企業は210社あるが、認定制度開始から10年以上が経過しており、「女性活躍推進法」、「働き方改革関連法」が施行されるなど企業や労働者を取り巻く環境が変化する中、エクセレント企業の中には、時代の要請に対応しきれていない企業もある。
- こうしたワーク・ライフ・バランス推進の取組みが停滞している企業を中心に、アドバイザー（社労士）による訪問や、オンライン面談を実施し、エクセレント企業認定基準を満たすよう取組内容を点検し、課題解決に向けた助言等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・広域的な企業への取組みとして県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
エクセレント企業への訪問指導 (専門家派遣)	450	フォローアップ訪問時の職員業務旅費 専門家派遣謝金及び費用弁償 等
合計	450	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 → 誰もが活躍できる社会
- ・県男女共同参画計画 → ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・少子化対策基本計画 → 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ・県女性の活躍推進計画 → エクセレント企業の認定拡大

事業評価調書（県単独補助金除く）

□ 新規要求事業

■ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

清流の国ぎふ創生総合戦略

岐阜県男女共同参画計画（第5次）

○岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数

R5末 198社 → R10末 300社

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数		198	220	240	300	66.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	(1) エクセレント企業へのフォローアップ訪問 (17社) (2) エクセレント企業の個別相談会の開催 (1回 4社) • 企業訪問や相談会の開催により、専門家等からの指導・助言を実施したこと ワーク・ライフ・バランスを推進するうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。	
	指標① 目標：197 実績：181 達成率： 91.9 %	
令和4年度	(1) エクセレント企業へのフォローアップ訪問 (5社) (2) エクセレント企業の個別相談会の開催 (1回 7社) • 企業訪問や相談会の開催により、専門家等からの指導・助言を実施したこと ワーク・ライフ・バランスを推進するうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。	
	指標① 目標：222 実績：182 達成率： 82.0 %	
令和5年度	(1) エクセレント企業へのフォローアップ訪問 (9社) (2) エクセレント企業の個別相談会の開催 (1回 3社) • 企業訪問や相談会の開催により、専門家等からの指導・助言を実施したこと ワーク・ライフ・バランスを推進するうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。	
	指標① 目標：250 実績：198 達成率： 79.2 %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	共働き世帯の増加や高齢化に伴う介護負担の増加により、労働者のニーズが多様化する中で、仕事と家庭を両立しながらいきいきと働き続ける環境の整備をより一層推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	エクセレント企業の取組みは全国的にも評価され、県内企業における取組みも促進されているが、今後4年間で目標を達成するためには、エクセレント企業認定に向けた支援を加速させる必要がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	先進的に取り組む企業を育成し、そのノウハウを他の企業に普及させることで、全体のレベルアップを図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

エクセレント企業は、令和5年度末で198社認定しており、全国表彰を受賞する企業も出るなど、その取組みは高く評価されている。

しかしながら、エクセレント企業認定制度開始から10年以上が経過し社会情勢などが変化してきたことから、過去に認定した企業の中には、ワーク・ライフ・バランス推進の取組みが停滞している企業が見受けられる。エクセレント企業ブランド力の維持のため、専門家による指導・助言を実施しながら、ワーク・ライフ・バランス推進の取組みの維持・向上を促していく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

エクセレント企業が、県内企業のワーク・ライフ・バランス推進の主動的な役割を担ってもらえるよう、専門家の派遣や企業同士のネットワークを構築する学習会の実施などにより、認定後の新たな課題への対応や他社の優良な事例を取り入れるといったエクセレント企業として更なる高みを目指す主体的な取組みを後押ししていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	